

羽曳野市立学校給食センター等複合施設整備事業に係る実施設計・施工一括発注公募型プロポーザル  
第2回質問回答書

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
1	要求水準書	19	1	2.2.1	事前調査業務	残土処分が必要となる場合は事前に土壌調査とあります。「追加資料」の調査報告書より土壌汚染調査は実施されておりますが、その他の土壌調査が必要な場合は調査内容をご指示下さい。	場外への残土処分が必要な場合は土壌調査をお願いします。提供した土壌汚染調査資料以外の土壌調査はありません。
2	要求水準書	P-24	7	2 2 8	役割分担表	実施設計方針書の作成依頼との記載があります。 タイトな全体スケジュールの中で、実施設計や建築確認の時期が、工事工期に影響すると考えています。 コスト削減の提案による変更項目を了承して頂くため契約後一か月程度で、最終計画案を確定して頂くことは可能と考えて宜しいでしょうか	竣工時期を遵守するうえで、協議の上対応することはあり得ます。
3	業務仕様書	P-6	30	(2) 工①	積算 単価 採用情報	単価の採用資料として、刊行物をお示し頂いていますが本件は設計施工であるため実勢価格で内訳書を作成して宜しいでしょうか？ また、メーカー見積について、原則として3者以上との記載がありますが、施工するメーカーの見積のみで宜しいでしょうか	実施設計の終了により数量が確定し工事に着手する前に、総価契約の金額を変更しない設計変更を行い、単価合意することを基本とします。単価合意後に、契約額の変更を伴う設計変更等が生じた場合には、詳細設計の図面、数量、合意した単価に基づき、設計変更及び契約額の変更を行うものとします。
4	概要書編	P-16 P-17			機械設備計画	厨房機器類の給水・給湯・ガス配管が天井配管のご指示となっておりますが、空調・換気ダクト類との施工上の整合性や維持管理の容易さを考慮してピット内配管と置き換えて宜しいでしょうか。	基本設計図書通りで工事見積金額を算出してください。それとは別に左記内容の具体的な提案とそれに伴う工事見積金額を算出してください。コスト比較、性能検討をしたうえで、方針を決定します。
5	基本設計図面	GEN-14~16			特記仕様書（給排水衛生）	給水配管の場所ごとの使用範囲の仕様が明示されていません。ピット内配管及び天井配管においてHIVPの使用を考えて宜しいでしょうか。	SGP-VAとしてください。
6	基本設計図面	GEN-17			特記仕様書（空調設備）	屋内隠蔽部のダクト保温仕様が機械室等の露出部仕様と同じ保温板となっておりますが、隠蔽部は保温材の仕様は同じで保温帯の使用で宜しいでしょうか。	宜しいです。
7	基本設計図面				空調機器表 系統図 2階ダクト図	厨房調理室関係の排気ダクトの屋上での臭気対策用機器のご指示がありません。要求水準書では近隣等へ配慮するとなっておりますが、不要で宜しいのでしょうか。	基本設計時点では、臭気対策用の機器は設置しておりません。卓越風向を確認の上、吹出方向について配慮してください。
8	基本設計図面	GEN-18			工事ステップ 図	ガードマンの配置ですが、工事ステップに記載の出入口以外に車両搬入ルートと想定する敷地南東の交差点にガードマンの配置は必要ないでしょうか。必要な場合、人数と期間をご指示ください。	東側道路については、原則通行しない計画としてください。（「別紙1」工事車両想定ルート図参照のこと）その他、仮設計画を行うにあたり、必要と思われるものは各事業者で想定してください。
9	基本設計図面	GEN-18			工事ステップ 図	既存の解体範囲ですが、既存施設資料より、工事ステップ 図記載の建物及び工作物以外に本館棟西の浄化槽及び便所棟北の浄化槽、敷地内の外構レイアウト変更に伴う撤去必要な樹木撤去も本工事と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
10	基本設計図面	GEN-18			工事ステップ 図	本館棟の杭の撤去ですが、既存施設資料の7通(体育館横)の3本に関しては、解体機械配置時に体育館と干渉して施工が不可能となります。7通既存杭は存置と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。（基本設計時点では既存体育館基礎と共有する杭として残置し、今後実施設計にて対応を検討します。）
11	基本設計図面	GEN-18			工事ステップ 図	工期において、敷地内体育館ですが、STEP1～STEP2は利用、STEP3～STEP6は閉鎖と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
12	基本設計図面	GEN-18			工事ステップ 図	敷地内体育館ですが、本館棟撤去後の外壁南面ですが、仕上げ等の改修方法が不明です。ご指示ください。	撤去部分から1,000mmの範囲で外壁補修・外壁再塗装（壁面と同材料）を見込んでください。
13	基本設計図面	A-50			外構図(1)	運動公園フェンスですが、高さ及び仕様が不明です。ご指示ください。	スチール製ネットフェンス4,160mm（基礎共・メーカー既製品）同等品としてください。（入口扉4か所設置）
14	基本設計図面	A-50			外構図(1)	塀B'の詳細図が記載されていません。塀Bと同仕様と考えて宜しいでしょうか。否の場合、仕様をご指示ください。	塀B'については「別紙2」追記詳細図内の擁壁Aに読み替えてください。塀Bについても「別紙2」追記詳細図内の塀Bの施工範囲と仕様を参照してください。
15	基本設計図面	A-50			外構図(1)	運動広場北側駐輪場と食育広場北側駐輪場ですが、平面駐車・屋根有程度と考えて宜しいでしょうか。	平面駐車とし、屋根は無しとします。（トラフィックペイントは見込むこと）
16	基本設計図面	A-50			外構図(1)	敷地内の外構にレベル差が有り、擁壁等の設置が必要に思われます。擁壁の配置と仕様をご指示ください。	必要と思われる個所に、性能を満たす仕様の擁壁を適宜、各事業者で見込んでください。
17	基本設計図面	A-50			外構図(1)	特記に記載のシート舗装ですが、詳細が不明です。仕様をご指示ください。	真空コンクリート舗装として見込んでください。
18	基本設計図面	A-51			外構図(2)	青色線の一点鎖線は外構詳細図のU字側溝と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
19	基本設計図面	A-51			外構図(2)	雨水抑制槽ですがA、B、C以外に体育館北に記号の無い「雨水抑制槽」がございますが、誤記として不要と考えて宜しいでしょうか。	誤記のため、不要としてください。その他図面で記載がある場合は左記と同様と認識してください。
20	基本設計図面	A-51			外構図(2)	青色線の実線は外構詳細図のVP排水管と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
21	基本設計図面	M-01 M-02			空調機器表(1)-2	厨房各室の給気に外気処理機×8台が選定されていますが、熱源機器が無い厨房室は給気ファンでの給気で宜しいでしょうか。	基本設計図書通りで工事見積金額を算出してください。それとは別に左記内容の具体的な提案とそれに伴う工事見積金額を算出してください。厨房機器から発生する蒸気や湿度除去に配慮し、生外気導入による結露対策を確認した上で方針を決定します。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
22	基本設計図面	M-04 M-05			空調機器表(4) (5)	厨房各室の遠心送風機×12台が全てSUS製のご指示となっています。一般厨房仕様で問題ないと考えます。宜しいでしょうか。	基本設計図書通りで工事見積金額を算出してください。それとは別に左記内容の具体的な提案とそれに伴う工事見積金額を算出してください。コスト比較、性能検討をしたうえで、方針を決定します。
23	基本設計図面	M-14			1階平面図(ダクト)	煮炊調理室・揚物・焼物・蒸し物室に排気フードが設置されているため2階見学通路より調理状況が見えません。給排気ダクトを壁面と高天井面での対流式に変更し排気フードを取止めたいと考えます。宜しいでしょうか。	基本設計図書通りで工事見積金額を算出してください。それとは別に左記内容の具体的な提案とそれに伴う工事見積金額を算出してください。コスト比較、性能検討をしたうえで、方針を決定します。
24	基本設計図面	M-17 ~ M22			中央監視設備 自動制御設備	給排気ファン、熱源機器等の制御に関し、DDC使用による中央監視、自動制御が行われていますが、基本設計図に記載のされているメーカーに問合せたところ、見積不可との回答を頂きました。給食センターの日常運転を適切に管理でき、要求水準書記載の「状態監視及び一括発停程度」が可能な制御内容への見直しを行って宜しいでしょうか。	基本設計図に記載のメーカーだけでなく、同等品も含めて見積もり取得対応をお願いします。
25	樹木見取図・樹木リスト				樹木リスト、樹木見取図	樹木撤去において、存置必要な樹木及びに撤去必須の樹木がございましたらご指示ください。	現時点では、全て撤去として見込んでください。
26	既存施設資料				青少年児童センター 竣工図	アスベスト対策工事ですが、アスベスト調査の分析結果により、外壁の複層模様吹付、内部天井の岩綿吸音・フキダシボード・有孔珪酸カルシウム板全般、附属棟倉庫の外壁のフキダシボードを対象と考えて宜しいでしょうか。	アスベスト調査資料に準拠してください。
27					体育館棟の取合について	既存本館棟の解体に伴い、既存体育館棟取合部(新設渡り廊下接続部)の壁に改修等が必要な場合は詳細を御指示下さい。	No.12を参照してください。
28	基本設計図面	A-04 08			RF屋上の範囲について	RF屋上の範囲について、YC4通りXC1+1800~XC2間にバレットはございませんが、断面図(1)ではYC4通りにバレットがあり屋上の床レベルも違っています。断面図(1)を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。その他図面で記載がある場合は左記と同様と認識してください。
29	基本設計図面	A-03			屋上鳩小屋の仕上について	屋上鳩小屋の仕上について、下記と考えて宜しいでしょうか。と考えて宜しいでしょうか。 ※屋根…コンクリート金縷の上ルタ塗膜防水 ※屋根見付…コンクリート打放補修の上ルタ塗膜防水 H=180 ※屋根立上り…コンクリート打放補修の上ルタ塗膜防水 H=100 ※壁…コンクリート打放補修の上ルタ塗膜防水 ※有孔開口部配管塞ぎ…アルミバネ t=2.0 裏面グライト=4吹付	宜しいです。
30	基本設計図面	A-03			屋上設備基礎について	屋上設備基礎について、防水押えコンクリート上に後打ちコンクリートH=150と考えて宜しいでしょうか。また、仕上は下記と考えて宜しいでしょうか。 ※天端…コンクリート金縷の上ルタ塗膜防水 ※立上り…コンクリート打放補修の上ルタ塗膜防水	宜しいです。
31	基本設計図面	A-03			屋上太陽光発電パネル基礎について	屋上太陽光発電パネル基礎について、防水押えコンクリート上に後打ちコンクリートH=150と考えて宜しいでしょうか。また、仕上は下記と考えて宜しいでしょうか。 ※天端…コンクリート金縷の上ルタ塗膜防水 ※立上り…コンクリート打放補修の上ルタ塗膜防水	シート防水用太陽光発電パネル基礎とします。(A-46部分詳細図 2階屋根上ソーラー架台を参照のこと。三晃金属：ソーラーモジュール設置用架台同等品)
32	基本設計図面	A-03			屋上目隠しルーバー基礎について	屋上目隠しルーバー基礎について、防水押えコンクリート上に後打ちコンクリートH=150と考えて宜しいでしょうか。また、仕上は下記と考えて宜しいでしょうか。 ※天端…コンクリート金縷の上ルタ塗膜防水 ※立上り…コンクリート打放補修の上ルタ塗膜防水	宜しいです。
33	基本設計図面	A-03			屋上鉄骨設備架台の仕上について	屋上鉄骨設備架台の仕上について、DP-1塗装を見込んで宜しいでしょうか。	屋外の鉄部はすべて溶融亜鉛メッキ仕上げとしてください。
34	基本設計図面	A-21			屋上目隠しルーバー下地鉄骨の仕上について	屋上目隠しルーバー下地鉄骨の仕上について、DP-1塗装を見込んで宜しいでしょうか。	No.33を参照してください。
35	基本設計図面	A-03 20			防水押えコンクリート内の溶接金網について	2F屋上 防水押えコンクリート内に溶接金網φ6@100を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。誘発目地@3000を見込んでください。
36	基本設計図面	A-20			2F屋上の排水溝について	2F屋上の排水溝について、メタル敷込みの上防水用金縷 W=250と考えて宜しいでしょうか。	適切な水勾配を確保できれば、宜しいです。
37	基本設計図面	A-02 48			1F廻り各階段の仕上について	1F廻り出入口前の各階段仕上について、A-48 部分詳細図(3)の入口階段・ホップに倣って宜しいでしょうか。	宜しいです。
38	基本設計図面	A-46 08			屋上太陽光パネル基礎について	部分詳細図(1)では、屋上シート防水の上にソーラーフレームt=1.6下地の太陽光パネルとなっていますが、太陽光発電設備 平面図ではコンクリート基礎と思われる図示がございます。部分詳細図(1)の納まりを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答	
		頁	行	項目				
39	基本設計図面	A-33	48		1F渡り廊下について	1F渡り廊下の仕上について、A-48 部分詳細図(3)の入口階段・スロブに做って宜しいでしょうか。	渡り廊下床仕上げは屋外対応防滑性ビニル床シート（東リ NSシート NS800）同等品としてください。	
40	基本設計図面	A-33			屋上鳩小屋の仕上について	屋上鳩小屋の仕上について、下記と考えて宜しいでしょうか。と考えて宜しいでしょうか。 ※屋根…コンクリート金縷の上から塗膜防水 ※屋根見付…コンクリート打放補修の上から塗膜防水 H=180 ※屋根立上り…コンクリート打放補修の上から塗膜防水 H=100 ※壁…コンクリート打放補修の上から塗膜防水 ※有孔開口部配管塞ぎ…アルミバネ t=2.0 裏面グライt=4吹付	宜しいです。	
41	基本設計図面	A-33			屋上設備基礎について	屋上設備基礎について、防水押えコンクリート上に後打ちコンクリートとし、特記無きはH=150と考えて宜しいでしょうか。 また、仕上は下記と考えて宜しいでしょうか。 ※天端…コンクリート金縷の上から塗膜防水 ※立上り…コンクリート打放補修の上から塗膜防水	宜しいです。	
42	基本設計図面	A-33			屋上目隠しルーバー基礎について	屋上目隠しルーバー基礎について、防水押えコンクリート上に後打ちコンクリート H=150と考えて宜しいでしょうか。 また、仕上は下記と考えて宜しいでしょうか。 ※天端…コンクリート金縷の上から塗膜防水 ※立上り…コンクリート打放補修の上から塗膜防水	宜しいです。	
43	基本設計図面	A-41			屋上目隠しルーバー下地鉄骨の仕上について	屋上目隠しルーバー下地鉄骨の仕上について、DP-1塗装を見込んで宜しいでしょうか。	No.33を参照してください。	
44	基本設計図面	A-20	41		屋上バルコニー部の納まりについて	屋上バルコニー部の納まりについて、給食センター2F屋上に做って宜しいでしょうか。	宜しいです。	
45	基本設計図面	A-41			下地鉄骨の仕上について	瓦棒葺き屋根の下地鉄骨の仕上について、DP-1と考えて宜しいでしょうか。	No.33を参照してください。	
46	基本設計図面	A-41			屋根下地鉄骨梁の外壁貫通部塞ぎについて	屋根下地鉄骨梁の外壁貫通部塞ぎについて、スチールプレート t=1.2 DP-1塗と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。	
47	基本設計図面	A-22	48		下地ボードについて	WCの壁及びライニング壁の下地について、壁種別図では耐水PBt12.5+12.5、部分詳細図(3)では耐水PBt12.5+9.5とく違いがあります。壁種別図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。	
48	基本設計図面	A-48			便所手摺について	部分詳細図(3)に記載の下記の手摺について、明確な施工範囲及び数量が不明です。御指示下さい。 ・洗面手摺 ・小便器手摺 ・大便器用手摺 ・大便器用手摺(可動式)	WC6 (M) に下記手摺りを設けることとしてください。 ・洗面手摺・小便器手摺・大便器用手摺 WC6 (W) に下記手摺りを設けることとしてください。 ・洗面手摺・大便器用手摺	
49	基本設計図面	A-13	14	38	姿見鏡について	WCについて、内部仕上表備考欄に姿見鏡の記載がありますが、鏡本体のサイズ及び下地合板の厚みを御指示下さい。	姿見鏡サイズ…400mm×1500mm 各室2個所ずつ設置することとし、下地合板は適宜見込んでください。	
50	基本設計図面	A-13	14	38	フックについて	WCについて、内部仕上表備考欄にフックの記載がありますが、施工範囲及びメーカー品番が不明です。御指示下さい。	TOTO YKH20R とし、WC1・2・3・4・5に1ヶ所ずつ、 WC6 (M) 小便器2ヶ所、WC7小便器1ヶ所、WC (多) 1ヶ所設置してください。	
51	基本設計図面	A-13	14	38	ベビーチェアについて	WCについて、内部仕上表備考欄にベビーチェア及びフィッティングボードの記載がありますが、メーカー品番及び下地合板の厚みが不明です。御指示下さい。	ベビーチェア TOTO YKA25S フィッティングボード TOTO YKA41R 同等品としてください。 下地合板はスチールPL t=1.6を見込んでください。	
52	基本設計図面	A-20	22	41	42	下地ボードについて	外壁側の壁下地ボードについて、矩計図ではPBt=12.5のみの記載ですが、壁種別図ではPBt=12.5+12.5とく違いがあります。壁種別図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
53	基本設計図面	A-19	20	40	41	窓額縁について	建具表ではスチールSOP、矩計図ではALCとく違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
54	基本設計図面	A-20			断熱材について	矩計図(1)より外壁断熱t=25と記載がありますが、両棟とも外壁全面に硬質ウレタンt=25を見込むと考えると宜しいでしょうか。	コンクリート立ち上がり部分のみ断熱材を設置し、ALC部分には見込まないこととしてください。	
55	基本設計図面	GEN-7	20	41	耐火被覆について	何れの棟も矩計図に図示がなく、且つ特記仕様書にて適用の記載がないため、本物件においては耐火被覆は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲及び仕様を御指示下さい。	何れの棟も準耐火建築物（ロー1）としているため、耐火被覆は不要です。（GEN-02）	
56	基本設計図面	GEN-10			ブラインド等について	ブラインド、ロールスクリーン、カーテンについて特記仕様書にて適用の記載がありません。別途工事と解釈して宜しいでしょうか。	宜しいです。	
57	基本設計図面	A-47			コーナーガードについて	コーナーガードについて、詳細図に高さの記載がありませんが各室床～天井迄の施工と考えて宜しいでしょうか。	床上1800mmとしてください。	

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
58	基本設計図面	A-20	21	41	ビッドについて	配管ビッドについて、矩計図で外壁側に天井～H1050(給食センター)、天井～H600(青少年児童センター)の範囲でボリスレンフォーム=25の図示がありますが、外壁側すべてに必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
59	基本設計図面	A-05	35		タックについて	タックについて、他図に詳細の記載がありませんが400×200程度の打込型と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
60	基本設計図面	A-44			サインについて	サインについて、キープランの図示と表の員数がく違っておりますが、何れもキープランの図示を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
61	基本設計図面	-			消火器について	消火器及び消火器ボックスについて、他図に記載がありませんが必要な場合は設置箇所及び員数を御指示下さい。	厨房エリア内に消火器ボックス（埋め込み型）25か所 青少年児童センター内に5ヶ所 見込んでください。その他は置き型とし、別途工事とします。 仕様については、ユニオン製「UFB-1F-2300N」同等品としてください。
62	基本設計図面	GEN-11			鍵箱について	鍵箱について、特記仕様書で30組用、60組用と2種類適用の記載がありますが、給食センター側を60組用、児童センター側を30組用と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
63	基本設計図面	GEN-07	22	42	ALC間仕切について	特記仕様書でALC間仕切の記載がありますが、各棟の壁種別図に記載がありません。ALC間仕切は適用無しと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
64	基本設計図面	A-45			掲示板下地について	OS-009の掲示板についてPL-1.6程度の取付下地が必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
65	基本設計図面	-			仕様・メカ品番について	下記項目の仕様・メカ品番を御指示下さい。 ・磁器質タイル ・汚垂タイル	・磁器質タイル…リクシル「ピアツァ」300角同等品 ・汚垂れタイル…リクシル「キラミックステップ」同等品
66	基本設計図面	A-13			化粧鏡について	1階WC(1～5)について、内部仕上表備考欄に化粧鏡の記載がありますが、鏡のサイズ及び下地合板の厚みが不明です。御指示下さい。	鏡サイズ…400mm×600mm 下地合板は適宜見込んでください。
67	基本設計図面	A-13			ライニング壁について	1階WC(1～5)について、便器裏ライニング壁の仕上げを壁仕上と同様、化粧ケイカル板と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
68	基本設計図面	A-02			ライニング壁について	1階WC(2～5)について、平面図より壁掛洗面器裏にライニング壁の記載がありますが、H1100と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
69	基本設計図面	A-13			ライニング壁について	1階前室1.2について、内部仕上表備考にライニングの記載がありますが、下記が不明です。御指示下さい。 ・腰高さ ・腰壁仕上 ・甲板仕様	腰高さ…1200mm 腰壁仕上げ…耐水石膏ボード9.5mm+化粧ケイカル板8mm 甲板仕様…人工大理石（コーリアン）同等品 としてください。
70	基本設計図面	A-48			鏡について	洗面カウンター部の鏡について乳白アクリルは上下の照明蓋として見込むものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
71	基本設計図面	A-13			鏡について	1階前室1.2について、内部仕上表備考に化粧鏡及び姿見鏡の記載がありますが、寸法・下地・員数が不明です。御指示下さい。	化粧鏡サイズ…400mm×600mm 姿見鏡サイズ…400mm×1500mm 各室2個所ずつ設置することとし、下地合板は適宜見込んでください。
72	基本設計図面	A-02			エシャワについて	1階前室1.2について、平面図にエシャワの記載がありますが、メカ品番を御指示下さい。	1800×1260×2200 3P200V 自動片引き戸付き と同等品を見込んでください。
73	基本設計図面	A-13	10		天井高さについて	1階玄関ホールの天井高さが、内部仕上表ではCH2700、天井伏図ではCH3000とく違いますが、内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。	天井伏図を正とし、CH3000としてください。
74	基本設計図面	A-14	11		天井仕上について	下記の部屋の天井仕上について、内部仕上表ではGB-D(T)、天井伏図ではGB-NC(T)とく違いますが、内部仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 ・2階廊下、階段 ・2階廊下3、職員用階段1.2	宜しいです。
75	基本設計図面	A-02	46		階段手摺について	1階玄関ホール階段及び職員用階段1の手摺について、平面図より両端に手摺の図示がありますが、部分詳細図(1)に記載の自立手摺を両端に見込むと考えて宜しいでしょうか。	左記の両階段ともに、自立手摺りは内側のみとし、壁側の手摺りはブラケット手摺りとしてください。下地合板は適宜見込んでください。
76	基本設計図面	A-02			階段手摺について	職員用階段2について、平面図より壁側に手摺の記載がありますが、部分詳細図(1)に記載の自立手摺を見込むと考えて宜しいでしょうか。	上記回答と同じです。
77	基本設計図面	A-13			階段巾木について	職員用階段1.2について、内部仕上表にビニル巾木の記載がありますが、ササ部はSOP及びササ巾木を見込むものと考えて宜しいでしょうか。	ササ部はSOP塗装とし、階段部分の巾木は無しとします。
78	基本設計図面	A-46			階段蹴込について	階段について、部分詳細図(2)より蹴込PL-6と記載がありますが、表面はビニル床シートを見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
79	基本設計図面	A-02	46		床レベルについて	給食エリアの部屋について、平面図に床レベルの記載がありませんが、部分詳細図(1)に嵩上げコンクリートの記載があるため、全て部屋の床に嵩上げコンクリートを見込むと考えると宜しいでしょうか。 また、コンクリート内の補強はφ6.0 100目程度と考えると宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	嵩上げコンクリートは無しとしてください。 厨房詳細図(3)に記載の床下部分部分はスラブを下げることでとってください。
80	基本設計図面	A-26 A-31			塗床仕様について	厨房詳細図(4)で耐熱80°C・100°Cと記載がある床及び回転釜について、耐熱仕様の塗床が必要と思われます。仕様・メーカー品番を御指示下さい。	水性硬質ウレタン塗床(ABC商会タフクリートMH t6同等品)とってください。
81	基本設計図面	A-25			排水溝について	給食エリアの部屋について、厨房詳細図(3)に排水溝の記載がありますが、仕様は防水処理仕上げ、高さはH150と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
82	基本設計図面	A-26			機械基礎について	給食エリアの部屋について、厨房詳細図(4)に基礎の記載がありますが、仕上はポリイソシアヌレート系塗床と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。ABC商会ケミクリートE(厚膜) 防滑仕様同等品とってください。
83	基本設計図面	A-25			大型排水溝について	1階器具洗浄室について、厨房詳細図(3)より洗浄用の「グレーチング」の記載がありますが、内部仕上げは水性硬質ウレタン系塗材と考えると宜しいでしょうか。また、高さはH150と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
84	基本設計図面	A-25			洗浄室の床下り部について	1階洗浄室の床について、厨房詳細図(3)にFL-700及び750の記載がありますが、仕上は水性硬質ウレタン系塗材と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
85	基本設計図面	A-03			サッシ取合方立について	2階平面図よりXC1通の一部にサッシへ間仕切の塞ぎ方立が必要と思われますがサッシSOP程度と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
86	基本設計図面	A-08	13		梁型について	1階煮炊調理室について、断面図(1)梁型の記載がありますが、仕様は天井と同様、ケトル+EPと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
87	基本設計図面	A-13			床材立ち上げについて	幅木について、内部仕上表に床材巻上の記載がありますが、見切縁の仕様はアルミと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
88	基本設計図面	A-03	13		カーペットについて	仕上表 1階更衣室1・2にカーペットの記載がありますが、他図に記載がありません。天井付レベルを2m程度見込むと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
89	基本設計図面	A-08	11 14		天井高さについて	2階洗濯室天井高さについて、断面図(CH2400)と天井伏図・仕上表(CH2700)で違いがあります。2700を正と考えると宜しいでしょうか。	断面図を正としてください。
90	基本設計図面	A-13	31		冷蔵庫について	仕上表 冷蔵庫・冷凍庫の壁及び天井の下地はLGSと記載がありますが、厨房詳細図の断面詳細図よりLGS下地は不要と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
91	基本設計図面	A-14			モニター下地について	仕上表 2階研修室 備考欄にモニター下地の記載がありますが、合板t=12程度と考えると宜しいでしょうか。必要寸法と併せて御指示下さい。	合板下地ではなく、天井モニター吊下げ下地として、Lアングル75×75 W900×H300を見込んでください。
92	基本設計図面	A-14	20 22		壁下地について	2階洗濯室 壁について、仕上表及び壁種別図(PB12.5+12.5+EP-G)と矩計図(耐水PB12.5+化粧ケトル板t6.0+EP-G)で違いがあります。仕上表及び壁種別図を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
93	基本設計図面	GEN-07			水槽仕上について	消火水槽、ボイラー排水槽について、仕上は特記仕様書より「自閉性樹脂防水変性エポキシ樹脂系樹脂」系樹脂と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
94	基本設計図面	A-05	12		配管ピットについて	配管ピットについて、スラブ天端が意匠図(1FL-1350)、構造図(FL-2150)と食い違います。構造図を正と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
95	基本設計図面	A-32			点検口について	小荷物昇降機について、点検口が建築工事となっておりますが、詳細を御指示下さい。	小荷物昇降機内には点検口は無しとします。
96	基本設計図面	-			水槽天井について	消火水槽、ボイラー排水槽について、配管ピット同様天井部にポリスチレンフォームt=25を見込むものと6面防水では無く5面防水と考えると宜しいでしょうか。	ポリスチレンフォームを見込み、6面防水とってください。
97	基本設計図面	-			EVEピット仕上について	EVEピット、小荷物専用昇降機ピット床壁仕上について、塗布防水程度と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
98	基本設計図面	A-25	27 28 14		設備取合について	下記項目について、意匠図と機械設備図にそれぞれ記載があり、内容が異なる箇所があるように見受けられますが何れの内容も機械設備図の記載内容を正と考えると宜しいでしょうか。 ・排水管関連 ・油、スラリー管関連 ・フード、ダクト	宜しいです。
99	基本設計図面	A-25			グレーチングについて	グレーチング 蓋はステンレスノズリップ仕様程度と考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
100	基本設計図面	A-33	25		学習室シンクについて	衛生器具表にて、各学習室に設置するシンクが建築工事となっておりますが、寸法仕様等の詳細を御指示下さい。	ステンレス製シンクとし、W1200×D450×H750とってください。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
101	基本設計図面	A-33	25		調理実習室シツクについて	衛生器具表にて、調理実習室に設置するシツクが建築工事となっていますが、平面図よりシツク+調理台と考えて宜しいでしょうか。寸法仕様等の詳細を併せて御指示下さい。	教師用調理台 コクヨ製 BKT-2、A、S 3000x900x900 生徒用調理台 コクヨ製 NKS-4、A、S 2400x900x900 吊り鏡 コクヨ製 NTM-2 2400x900 同等品を見込んでください。
102	基本設計図面	A-38	41		調理実習室巾木について	調理実習室巾木について、仕上表(樹脂巾木)と、矩計図(ビニル巾木)が違いがあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。	樹脂巾木とビニル巾木は同義語です。
103	基本設計図面	A-38	44		下足箱について	風除室2について、備考に下足箱と記載がありますが、造作家具・サインプランには記載がありません。必要な場合は詳細を御指示下さい。	A-45図K-002の下足箱に倣ってください。 ただしW2000×D340×H1000としてください。
104	基本設計図面	A-34			ビツト進入口について	各配管ビツトのうちXB3/YB5側に面するビツト1区画に進入口が必要と思われるが図示にありません。床下点検口及びビツトを1ヶ所見込むものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
105	基本設計図面	A-38	25		黒板下地について	学習室備考欄に黒板の記載がありますが、取付下地はPL-1.6程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
106	基本設計図面	A-19	26		AW1のH寸法について	AW1のH寸法が建具表は1400ですが、厨房詳細図(4)上下窓有効高さ2000と違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	厨房詳細図を正としてください。
107	基本設計図面	A-16	49		前室2のLSD3防火性能について	建具キープラン前室2(XC2/YC4)のLSD3に防火凡例がありませんが、防火防煙区画図では特防凡例があり、違いがあります。特定防火設備の凡例が必要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
108	基本設計図面	A-16	19		AW8の数量違いについて	AW8の数量が建具表8か所、建具キープラン9か所と違いがあります。建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
109	基本設計図面	A-17	19		SF2の数量違いについて	SF2の数量が建具表8か所、建具キープラン9か所と違いがあります。建具キープランを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
110	基本設計図面	-			建具廻り防水について	外部建具枠廻りシールについて、変成シリコン系ダブルシール 15×10+15×10と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
111	基本設計図面	A-15			建具沓摺について	外部建具の沓摺欄に凡例がありませんが、開き戸は沓摺形状記号07、片引き戸は01と考えて宜しいでしょうか。	外部開き戸は記号07 外部片引き戸は記号06としてください。
112	基本設計図面	A-17			引き戸PAT対応金物について	SD6・9・10がPAT仕様ですが、片引き戸で下端をボルトにする為の金物が必要と思われます。メーカー品番を御指示下さい。	引き戸のPAT仕様は無しとします。
113	基本設計図面	A-17			SD10仕上について	SD10の仕上が扉面SOPで枠がA-BEですが、SD2・3等の外部に面する建具は扉面がA-BEで枠がSOPの為、SD2・3等に倣い扉面はA-BEで枠をSOPに読替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
114	基本設計図面	A-17			特定防火設備のガラス読替えについて	LSD3・5・9・10・11・12・ASD1～3が特定防火設備ですが、ガラスが強化ガラスでは不適合と思われます。耐熱強化ガラスに読替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
115	基本設計図面	A-17			LSD8のガラス記号について	LSD8のガラスについて、ガラス欄に記号がありませんが、姿図にはガラスの記載があります。姿図を正としPSG6を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。
116	基本設計図面	A-17			フィルムの色について	飛散防止フィルムと遮光フィルムは透明と考えて宜しいでしょうか。またメーカー品番を御指示下さい。	宜しいです。3M ファサラガラスフィルム フロスト/マット マットクリスタル2 同等品としてください
117	基本設計図面	A-17			SF2の寸法について	SF2の寸法について、寸法欄は900×2100三方枠の記載ですが、姿図ではH2700の一方枠と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
118	基本設計図面	A-16	26		厨房に面する建具枠廻り防水について	厨房エリアに面する建具枠廻りにシリコン系 シングルシール 10×10を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。
119	基本設計図面	A-19			AW3のW寸法について	AW3のW寸法が寸法欄はW10000ですが、姿図のトータル寸法ではW9450と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
120	基本設計図面	A-19			AW5のW寸法について	AW5のW寸法が寸法欄はW25200ですが、姿図ではW24000と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
121	基本設計図面	A-19			AW5パツカパネルについて	AW5の姿図にパツカパネルの記載ありますが、ケイカル板 t=20 EP塗を見込んで宜しいでしょうか。	宜しいです。
122	基本設計図面	A-02	06	19	ガラス裏の納まりについて	1階玄関ホールのYC7通りに柱があります。西側立面図でAW3の5・6連目のガラス裏面に柱がある事になる為、5・6連目にパツカボードを見込むと考えて宜しいでしょうか。	耐火ボードは無しとし、柱を独立させることとしてください。
123	基本設計図面	A-19			AW6・7材質について	AW6・7の材質・仕上について、建具符号はAWのアルミ製建具ですが、材質・仕上欄はスチール SOPの記載で違いがあります。アルミ製とし仕上はB-2と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
124	基本設計図面	A-19			AW5ガラス使い分けについて	AW5のPSG8+A6+PSG8のガラス施工範囲はW1300のFIX部に見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
125	基本設計図面	A-19			遮光フィルム施工範囲について	AW5の遮光フィルムの施工範囲について、姿図で一部にしか記載ありませんが、パツカパネルと記載ある窓以外全てに遮光フィルムを施工すると考えて宜しいでしょうか。	図面通りの施工範囲としてください。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
126	基本設計図面	A-15	19		枠見込みについて	アルミ製建具の枠見込みについて、共通事項欄A.8に引違窓に複層ガラスを使用する場合、枠見込みを100にすると記載アリマスが、建具表は70で違いがあります。70を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
127	基本設計図面	A-15			金属が 祢面吹付材について	共通事項欄のA.6に外壁金属が 祢は裏面に吹付材の指示がありますが、建具表でアルミが 祢等の記載が無い為、適用範囲は無しと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
128	基本設計図面	A-19			チャンが -BOXについて	ガ リチャンが -BOXについて、AG1～3に見込むとし、アルミ製奥行150で裏面グ ライト=3.0吹付と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
129	基本設計図面	A-19			網戸について	建具表で網戸の記載がありませんが、無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、該当建具と網戸形式を御指示下さい。	宜しいです。
130	基本設計図面	A-39	41		建具が ラのくい違い	矩計図の学習室-廊下でSPの上部に窓の記載がありますが、建具が ーラ・建具表に記載がありません。必要な場合、建具符号・W寸法・材質・仕上・ガ ーラ凡例を併せて御指示下さい。	TG8 飛散防止フィルム貼りW6000×H1000を3か所見込むこととしてください。
131	基本設計図面	A-39	40		AW1の数量くい違い	AW1の数量が建具表5か所、建具が ーラ6か所と違いがあります。建具が ーラを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
132	基本設計図面	A-39	40		AW6の数量について	AW6の数量が建具表1か所、建具が ーラ2か所と違いがあります。建具が ーラを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
133	基本設計図面	A-39	40		AW8の数量について	AW8の数量が建具表2か所、建具が ーラ1か所と違いがあります。建具が ーラを正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
134	基本設計図面	A-40			AW1のH寸法くい違いについて	AW1のH寸法について、寸法欄はH1800ですが、姿図ではH1200と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
135	基本設計図面	A-40			AW9のH寸法くい違いについて	AW9の寸法について、寸法欄はW3000×H1200ですが、姿図ではW1800×H2100と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
136	基本設計図面	A-40			SF2のW寸法について	SF2のW寸法について、寸法欄はW900ですが、姿図ではW800と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
137	基本設計図面	A-40			SW1・2のガ ーラについて	SW1・2にガ ーラ記号がありません。PSG6と考えて宜しいでしょうか。	PSG6+A6+PSG6の複層ガラスとしてください。
138	基本設計図面	A-40			SP1のガ ーラについて	SP1にガ ーラ記号がありません。PSG6と考えて宜しいでしょうか。	TG8 飛散防止フィルム貼りとしてください。
139	基本設計図面	A-40			SSDW6のW寸法について	SSDW6のW寸法について、寸法欄はW2100ですが、姿図ではW2100と違いがあります。姿図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。姿図を正としW2100としてください。
140	基本設計図面	A-40			網戸について	建具表で網戸の記載がありませんが、無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、該当建具と網戸形式を御指示下さい。	AW1、AW3、AW4、AW5の各引き違い部分に網戸を設置してください。
141	基本設計図面	A-40	49		防火設備について	風除室3の渡り側のSSDW6に防火防煙区画図で防火設備の凡例がありますが、建具表には防火の記載が無く違いがあります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。	防火設備としてください。
142	基本設計図面	GEN-11.13	02.50		設備基礎・工作物について	外構工事について、基礎等工作物は特記なき限り下記として宜しいでしょうか。 ・土工事 B種根切土 ・地業 捨コン50、砕石100 ・鉄筋コンクリート FC21NS-15 ・捨てコンクリート FC18NS-15 ・砕石 RC-40 ・配筋 SD295 D13 @200W ・仕上 打放素地	宜しいです。
143	基本設計図面	A-02.50			設備基礎について	設備基礎について、平面図、外構図に記載が複数見受けられますが、各基礎形状が不明です。各基礎形状を御指示下さい。	外構図の基礎形状としてください。
144	基本設計図面	A-02.50			設備基礎について	設備基礎について、外構図に記載の基礎寸法は地上部分と考えて宜しいでしょうか。また埋設部分の基礎寸法、基礎下の地業詳細、仕上詳細を御指示下さい。	宜しいです。外構図の基礎形状は地下埋設部分は150mmの高さとし、地業 捨コン50mm、砕石100mmとしてください。
145	基本設計図面	E-02			設備基礎について	キュービクル基礎、架台が建築工事となっておりますが、設置範囲、基礎・架台の詳細が不明です。それぞれ御指示下さい。	No.144を参照してください。
146	基本設計図面	A-50	01.05		設備基礎について	設備図6機器外形図、7燃料小出槽姿図に記載の基礎は、外構図発電機スペースの発電機及び950L油庫の基礎と考えて宜しいでしょうか。また基礎寸法、形状が図面間で違いがあります。基礎詳細を御指示下さい。	No.144を参照してください。
147	基本設計図面	A-50	26		設備基礎について	設備図受水槽、給水ポンプユニットの基礎は外構図受水槽の基礎と考えて宜しいでしょうか。また基礎寸法、詳細が不明です。基礎詳細を御指示下さい。	No.144を参照してください。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
148	基本設計図面	A-50	37	40	厨房除害ユニットについて	厨房除害ユニットについて、土工事～基礎迄を建築工事と考えて宜しいでしょうか。否の場合は区分、詳細を御指示下さい。	宜しいです。
149	基本設計図面	A-50	37	40	厨房除害ユニットについて	厨房除害ユニットについて、基礎寸法、形状が外構図と設備図で違いがあります。設備図を正として宜しいでしょうか。	宜しいです。
150	基本設計図面	A-50	41		厨房除害ユニットについて	厨房除害ユニットについて、設備図では制御盤の基礎の記載がありますが、外構図のプロア室基礎程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
151	基本設計図面	A-50	02.05	26.2	設備基礎について	外構図記載の基礎の他、設備工事に伴う基礎、架台を建築工事に見込む必要がある際は詳細を御指示下さい。	外構図A-50を参照してください。
152	基本設計図面	A-50			凡例について	外構について、外構図下部に凡例、各数量の記載がありますが、図示範囲と面積、数量が違いがあります。図示を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
153	基本設計図面	A-50			凡例について	外構について、図示では配置図の為、屋根下部等の舗装、緑地の正確な範囲が不明です。各凡例毎の詳細な範囲若しくは数量を御指示下さい。	図面から測定し、算出してください。
154	基本設計図面	A-50.52			舗装について	舗装について、凡例表では斜線でスリップ舗装とありますが、図示ではアスファルト舗装と同色となっており、詳細図には記載が無く、舗装の詳細が不明です。舗装構成、アスファルト舗装との違いを御指示下さい。	No.17を参照してください。
155	基本設計図面	GEN-11	52		舗装について	舗装について、特記仕様書ではコンクリート舗装に溶接金網が有りとなっておりますが、詳細図カラーコンクリート舗装では記載がありません。また引き出し線ではコンクリート版とあり、舗装構成が不明確です。カラーコンクリート舗装の構成を改めて御指示下さい。	カラーコンクリート舗装と記載の階段テラスについては誤記とし、「別紙2」追記詳細図内の階段テラスの詳細を参照してください。
156	基本設計図面	A-50.52			舗装雑物について	舗装雑物について、詳細図に車止めがありますが、図示全ての駐車場に2個1組で見込んで宜しいでしょうか。また仕様不明です。PC製で宜しいでしょうか。	既成コンクリート製品とします。
157	基本設計図面	GEN-10	02.52		舗装雑物について	舗装雑物について、点字・誘導ブロックとありますが、範囲は屋外階段とと考えて宜しいでしょうか。また図示範囲は全て点字と考え、仕様は特記よりレジンコンクリート製として宜しいでしょうか。	宜しいです。
158	基本設計図面	GEN-11	50.52		舗装雑物について	舗装雑物について、トラフィックペイントとありますが、図示の駐車場枠線でW150、横断歩道をW300、番号を150角と考えて宜しいでしょうか。また上記のほか車椅子、矢印、速度、停止等が必要な際は各詳細、数量を御指示下さい。	宜しいです。車椅子用駐車場ペイント1ヶ所を設けてください。
159	基本設計図面	GEN-11	50.52		植栽について	植栽について、緑地とありますが、植栽工事の詳細図面が無く、樹木や客土の詳細、灌水の有無などが不明です。詳細図より凡例の範囲全面に低木・地被、客土・土壌改良材をH150として宜しいでしょうか。	宜しいです。
160	基本設計図面	A-50			囲障について	囲障について、開口の図示がありませんが、フェンス扉等は不要で宜しいでしょうか。	運動広場フェンスには4か所設けてください。
161	基本設計図面	A-50			囲障について	囲障について、門扉図示凡例の a : 7.7m b : 12.2mを門扉のW寸法と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
162	基本設計図面	A-50			囲障について	上記に関し、門扉の基礎詳細が不明です。a、bそれぞれ御指示下さい。	a,bともコンクリート直均し仕上げ t 250、D10@200としてください。
163	基本設計図面	A-50.52			囲障について	囲障について、凡例の「既設フェンス撤去の上フェンスA新設」、「フェンス新設、運動場フェンス」を「詳細フェンスA」と考えて宜しいでしょうか。また撤去は新設と同範囲と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 運動広場の新設フェンスは、No.13を参照してください。
164	基本設計図面	A-50.52			囲障について	囲障について、凡例の扉B、B'を詳細扉Bとと考えて宜しいでしょうか。またRC吹付、柵とのみの図示となっており、各部詳細、メーカー品番、凡例の違いが不明です。御指示下さい。	No.14を参照してください。
165	基本設計図面	A-51.52			排水について	排水について、詳細図ではU字溝工、排水会所、VP排水の3種ありますが、外構図では凡例が無く、図示が詳細図の何れを指すのか不明です。青一点鎖線をU字溝工、青実線をVP排水150、赤実線をVP排水200、各所の口を樹とと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
166	基本設計図面	A-52			排水について	排水について、排水躯体はPC製と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
167	基本設計図面	A-52			排水について	排水について、樹の寸法が明記されておらず、樹の寸法詳細が不明です。新設樹のリストを頂けますでしょうか。	450角 H800 既製コンクリート製としてください。
168	基本設計図面	A-52			排水について	排水について、樹の詳細では蓋の種別が3種程見受けられますが、使い分けが不明です。それぞれの数量を御指示下さい。	建物周囲に配置の雨水樹は鋼製グレーチング蓋とし、その他はコンクリート製蓋としてください。
169	基本設計図面	A-52			排水について	排水について、埋設管は全てVPΦ150と考えて宜しいでしょうか。	VPφ200としてください。
170	基本設計図面	A-45			サイン基礎について	サイン基礎OS-001、002について、図示では片断面のみとなっており、D寸法が不明です。W、Dは同寸と考えて宜しいでしょうか。また図示より凸型と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。



No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
171	基本設計図面	A-50			その他	外構図ではスロープ、階段の様な図示が幾つか見受けられますが、詳細図が無く、各詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	A-48図スロープ図に倣ってください。
172	基本設計図面	A-50			その他	上記に関し、上り等が付随して必要となる際は範囲、詳細を御指示下さい。	「別紙2」追記詳細図を参照してください。
173	基本設計図面	A-50			駐輪場について	外構図では駐輪場25台、20台とありますが、詳細図が無く、ラック、区画線、盗難防止バー、上屋等プランが不明です。詳細を御指示下さい。	区画線のみとしてください。
174	基本設計図面	A-50			階段テラスについて	外構図に階段テラスと記載がありますが、詳細が不明です。御指示下さい。	「別紙2」追記詳細図を参照してください。
175	基本設計図面	A-50			防火水槽について	外構図に防火水槽と記載がありますが、各詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	ケイコン株式会社 耐震性貯水槽TYPE-B W3100×H2200×L9000同等品とってください。
176	基本設計図面	A-50			雨水抑制槽について	外構図に雨水抑制槽と記載がありますが、各詳細が不明です。詳細を御指示下さい。	ベルテクス株式会社 MVP-L H2500 同等品とってください。
177	基本設計図面	GEN-03.18 <del>50</del>			レベルについて	レベルについて、撤去後の工事開始レベル、仕上レベルが不明です。新設分の土工のみ見込んで宜しいでしょうか。	GEN-03現況図（現況レベル）およびA-01配置図（仕上げレベル）から想定してください。
178	基本設計図面	GEN-11			特記仕様書について	確認ですが、特記仕様書の適用印○より、舗装工事の路床安定処理、凍上抑制層、各種試験は該当無しと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。実施設計後に必要となった場合は、その際に精算することとします。
179	基本設計図面	GEN-11			特記仕様書について	特記仕様書⑥路盤材料に記載の路盤の締固め度試験は本工事に見込むものと考えて宜しいでしょうか。また試験数量を御指示下さい。	宜しいです。試験箇所は10ヶ所を想定してください。
180	基本設計図面	GEN-18 <del>50</del>			撤去について	撤去について、工事ステップ図で記載の「防球フェンス撤去、ネットフェンス新設」は外構図の凡例「既設フェンス撤去の上フェンスA新設」と同じ範囲を指すものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
181	基本設計図面	GEN-18 <del>50</del>			撤去について	撤去について、上記よりSTEP図と外構図でフェンスの撤去、新設の範囲が違います。外構図を正として宜しいでしょうか。	宜しいです。
182	基本設計図面	GEN-18			撤去について	撤去について、合併処理槽の撤去とは青少年児童センターの浄化槽(合併処理槽)、グラウンドの設備浄化槽が該当するものと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
183	基本設計図面	GEN-12			土工	建設発生土の処理において構内の指定場所に敷き均しとあります。その指定場所をご指示下さい。	青少年児童センターより東側の、給食センター敷地部分全範囲を想定しています。
184	基本設計図面	GEN-12			土工	上記、ご回答の指定場所に建設発生土の全数を敷き均しできるもの（敷地場外への残土処分は無し）と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
185	要求水準書	19	1		土壌調査	敷地場外への残土処分が必要となる場合は事前に土壌調査をしておりますが、この調査は、残土の受入場所が本工事敷地内で土壌をサンプリングし検査する調査と考えてよろしいでしょうか。	場外への残土処分が必要となる場合の土壌調査を示します。場内での残土利用については、調査は不要です。
186	要求水準書	19	1		土壌調査	上記の検査で土壌汚染が確認された場合、下記は別途と考えて宜しいでしょうか。・御開示資料（土地の利用履歴等調査）以降の土壌調査費・汚染土対策費、処分費・工期の延長等。	宜しいです。提供した土壌汚染調査資料以外で、土壌汚染が確認された場合の費用については別途費用とします。
187	要求水準書	21	32		アスベスト対策工事	必要なアスベスト対策工事を行うこととありますが体育館外壁に関しては今回工事対象外とし現状のままと考えてよろしいでしょうか。（ただし会館接続部のみ対策工事を行う）	宜しいです。
188	樹木見取図 樹木リスト				既存樹木	既存樹木は全て撤去するものとし、そのリストは樹木リストによるものと考えて宜しいでしょうか。また伐根は施工上、障害のある範囲と考えて宜しいでしょうか。合わせてご指示下さい。	現時点では、伐根も含め全て撤去として見込んでください。
189	現地調査				既存備品	既存、体育館・本館棟・倉庫棟他の引越は別途工事。不要備品、残置物の処分も別途工事と考えて宜しいでしょうか。	現地調査で確認した備品のうち、6割程度の処分を見込んでください。
190	要求水準書	14	1		埋蔵文化地域	試掘調査の方法・か所数等をご指示下さい。	届け出は必要ですが、試掘調査については想定していません。
191	要求水準書	18	28		事前調査業務	近隣家屋調査の範囲をご指示下さい、	敷地北側・南東側民家の範囲を調査範囲として見込んでください。
192	要求水準書 別資料3 基本設計図面	21	435 11		交通誘導員	交通誘導員の配置場所・人数・期間に指定はないものと考えて宜しいでしょうか。	交通誘導員については、指定はありません。「別紙1」工事車両想定ルート図を参照し、東側道路については、原則通行しない計画としてください。その他、仮設計画を行うにあたり、必要と思われるものは各事業者で想定してください。
193	基本設計図面	A-06			立面図の二重線図示について	東側立面図 YC2～YC8 2FL+1100～3500程度の位置(凡例F2及びF1の上部)に二重線が通っておりますが、何を示す図示か不明瞭です。詳細を御指示下さい。	庇ラインを示しており、庇詳細図を参照してください。
194	実施要領	15	23		(プレゼンテーション審査について)	「参加資格審査結果後に別途送付する通知」はいつごろご提供いただけるでしょうか。その際、人数規模・内容・方式など詳細もご教示ください。	2月中旬までに、詳細内容も含めて提示します。

No	資料名	該当箇所			タイトル	質問	質疑回答
		頁	行	項目			
195	審査基準書別紙2	11			テーマ2	「基本設計及び要求水準書等に準じ、」とあります。これは基本設計から一部、構造架構の見直し等を行うことも可能と考えてよろしいでしょうか。	基本設計図書通りで工事見積金額を算出してください。それとは別に左記内容の具体的な提案とそれに伴う工事見積金額を算出してください。そのうえで、各室の主なレイアウト、室の高さを遵守した上での提案は可能とします。
196	追加資料1 意匠図・構造設計図	A-02、A-03、B-13			1階・2階平面図 1階・2階床梁伏図	基本設計図書の意匠図と構造図について、柱の位置や有無が異なる箇所については、構造図の柱位置を正として考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
197	追加資料1 意匠図	A-05			ピット図	凡例にて、配管ピットのスラブ末端が「FL-1350」とありますが、「FL-2150」と読み替えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
198	要求水準書	19	10	2.2.2	各種許認可申請等の手続き業務	今回は既存の造成レベルに基づき計画されているため形質の変更が生じないと考え、都市計画法上の開発許可申請は不要と考え、羽曳野市開発指導要綱に基づく協議のみ必要と考えてよろしいでしょうか。	都市計画法上の開発許可申請は不要です。羽曳野市開発指導要綱に基づく協議は必要です。
199	要求水準書	19	10	2.2.2	各種許認可申請等の手続き業務	存置建築物の工事検査済証の有無についてご教示いただけますでしょうか。	既存建築物の検査済証は有ります。適宜、提示可能です。
200	要求水準書	38	34	3.1.5(2)	冷蔵庫・冷凍庫の仕様について	「6）自動温度記録装置等により、庫内温度の経時変化を記録できる機器とすること。」との記載がありますが、原材料保管をするプレハブ冷蔵庫・プレハブ冷凍庫が該当するとの理解で宜しいでしょうか。	宜しいです。肉・魚類下処理室、野菜下処理室のプレハブ冷蔵庫・冷凍庫が該当します。
201	要求水準書	48	23	3.2.1.1	和え物室	「（オ）消毒後、冷却できる食缶を使用できるよう整えること。」との記載がありますが、冷却できる食缶というのは蓄冷剤仕様の食缶（和え物食缶）を使用するとの理解で宜しいでしょうか。	蓄冷剤を使用しない方法で保冷可能な食缶で検討してください。
202	基本設計図面 A-24_厨房詳細図(2)	A-24			Mコンテナ室	「M11冷凍1200×800×1910数量2」との記載がありますが、こちらの使用用途は和え物食缶用の蓄冷剤を冷却する想定と考えてよろしいでしょうか。	蓄冷材は使用しないため、蓄冷材用の冷凍庫は不要です。
203	様式集	37			様式6-2見積書	様式集6-2の1.に記載する基本設計に準じた見積書の金額について確認させていただきます。 ① 建築、設備の金額は基本設計図面を元に積算した金額という理解でよろしいでしょうか。 ② 調理設備の金額は要求水準書の能力を満たす仕様・能力・台数の機器とした計画の金額という理解でよろしいでしょうか。 ③ 上記①②とした場合、①の建築、設備工事金額は②の調理設備計画と整合性を図ったものとする、という理解でよろしいでしょうか。 ④ 上述の①～③の条件で金額提示するとした場合、どのようなレイアウトでどのような機器が何台配置されているかが不明となりますので、基本設計に準じた見積書の平面図と機器リストの提出を認めて頂けないでしょうか。	① 宜しいです。 ② 宜しいです。 ③ 宜しいです。 ④ 宜しいです。
204	様式集	38			様式6-3見積価格計算書	様式6-3に記載して提出する価格計算書は、様式6-2の1.基本設計に準じた見積書の価格についての計算書、という理解でよろしいでしょうか。	宜しいです。
205	審査基準書	10・11			別紙2	技術提案項目テーマ1、テーマ2、テーマ3それぞれの「審査の視点」の最下段に「提出物例）」としてそれぞれ、テーマ1には「仮設計画提案、段階整備計画図等」、テーマ2には「伏図、軸組図、部材リスト等」、テーマ3には「機器平面図、機器説明図等」との記載がございますが、これは提案様式7-5、7-6、7-7とは別に補足資料として「提出物例）」にあるような図面資料を別途提出してもよいということでしょうか。その場合、提出物のサイズや枚数は適宜としてもよろしいでしょうか。	様式集で示された書式、枚数の範囲内で記載してください。
206	審査基準書	11	23		テーマ3 審査の視点6)について	テーマ3の審査の視点6)に「～、将来の利用形態の変容への提案～」との記載がございますが、「利用形態の変容」とは事例としてどういったことを想定されておられますでしょうか。	小学校給食のみの利用から、中学校給食を含む利用形態への変容や厨房機器の更新時の変容などを想定しています。
追記1	追記図面				工事車両想定ルート図		【追記】 工事車両の想定ルート図「別紙1」を示します。
追記2	追記図面				追記詳細図		【追記】 追記詳細図「別紙2」を示し、囲障、擁壁、スロープ、階段テラス詳細を追記します。質疑を補完するための資料ですが、一部、外構図と相違する部分は「別紙2」を正としてください。
追記3					各事業者による提案について		【追記】 No4.21.22.23.195の提案については、「様式7-6、7-7 技術提案項目」において記載してください。